

2025年

春の読書感想文・課題作文優秀作品

【中学部・課題作文】

新人賞

※課題作文に初挑戦の中学一年生の中から選出

鶴川校 O・Dくん（鶴川第二中）

米価格の高騰が長期間にわたって続いている。資料Iによると、過去の米価格の高騰は不作や震災が原因であった。しかし、二〇二四年の米価格の高騰は今までと比べてかなり高くなってしまった。さらに供給不足も問題であり、実際に私の家では米が無い時期もあった。

当初私はこの件に関して、まだ店頭で米が買えて価格もあまり高騰していない頃は、単なる猛暑による不作が原因ではないかと考えていた。しかし明らかに品薄が現れた頃からは、複合的な要因があると家族との会話から少しずつ情報を得られるようになった。ただそうした情報がなければ、この件に興味すら持っていなかったかもしれない。

課題文の農家の声を読んで、減反政策の補助金があっても農家が赤字になっていたのは、元々の米価格が正常ではなかったからではないかと思った。加えて減反政策が廃止され、農家の負担はさらに増しただろう。だから米価格の高騰は、供給が十分に行われれば、農家にとってはむしろ喜ばしいことだと考えられる。

米は我々日本人にとって誇れる食文化の象徴であり、食料自給率も九八パーセントと他の食品と比べて非常に高く、貴重な資源である。しかし今、米価格の高騰で国民が米を買わなくなれば食文化が一変する可能性がある。単純な考えだが、農家も市民も満足できるようにするには、米の価格を以前よりは高い水準で維持しつつ、国民の所得増加を目指すのが最適だと考えた。

今回の課題を通して、改めて自分の情報を取り入れる力のなさを痛感した。今後の社会においては、一部のみに焦点を当てて他は無視するような偏ったニュースがますます増えてくるだろう。その情報を鵜呑みにして一方的な視点で物事を捉えるのではなく、多角的に物事を捉える力を身に付け、積極的に様々な情報を取り入れていきたいと思った。

中2・中3の部

中山校 H・Sさん（横浜国大附属横浜中）

現在、日本ではコメの価格高騰が続いている。資料Iによると二〇二三年産コメの価格は玄米六十キログラムあたり約一・五万円であったのに対し、二〇二四年は約二・四万円と、一・六倍にも上昇している。これにより私の家庭ではコメの代わりにパンや麺が出てくるが多くなった。

私は、ニュースで米価高騰の主因が投機目的とみられている事を知っていたが、後にその認識が間違いである事が分かった。さらに、課題文を読んで、物事を多面的にみる事や情報を吟味する事の必要性を改めて実感した。

米価高騰という物事を見るときに、消費者である自身の視点だけでなく、生産者であるコメ農家の声を読んで、もとのコメの価格は両者が納得できるものではなかった事を初めて知り、切ない気持ちになった。二〇一八年まで続いていた減反政策については、補助金を得る代わりに休耕田を作らせるという仕組みであると理解した。

コメはパン等の原料である小麦の五倍以上の自給率である。そのため国際情勢の影響を受けにくく、食料安全保障において重要な存在である。しかし作り手が儲かっておらず、国内の消費量は減っている。そこで米の生産量を増やすために、以前は減反政策で出していた補助金を、米を作ることに使えばよいのではないだろうか。また国内でコメを買ってもらうために、日本でコメ以外の主食として食べられているパンや麺などの小麦を米粉で代用すればよいのではないだろうか。そのために私は米粉の生産量を上げることを提案したい。さらに外国は日本の米の品質を評価し欲しがるため、輸出すれば海外でも高く売れるだろう。こうしてコメの自給率を確保し、コメ農家に儲けをもたらせば日本の米作りの持続が可能となるだろう。

現代では情報通信が容易になっており、物事の認識を間違えるとフェイクニュースなどを意図せず発信してしまう可能性もある。そうならないためにも、複眼的視点で情報を集め、物事の本質を理解するようにしていきたい。

【小学部・読書感想文】

※今回該当者無し